

一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)の運賃の上限変更認可申請について

北陸鉄道㈱、北鉄金沢バス㈱および北鉄白山バス㈱は7月6日(木)、国土交通省北陸信越運輸局に一般乗合旅客自動車運送事業の運賃の上限変更認可申請書を提出しました。

記

1 申請理由

当社グループの生活バス路線は、平成9年以降26年間にわたり運賃改定を行わず(消費税改定を除く)、経費削減に取り組みながら新車導入を積極的に進めるなど安全性やサービスの向上に努めてきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少で大幅な損失を計上することとなり、新車導入をはじめとする設備投資費や人件費等の緊急抑制措置を講じるなど、事業継続に向けさまざまな収支改善策に取り組んできました。

この先、新しい生活様式の定着に伴い需要回復が見通せないことや、燃料費高騰の影響も加わり、大変厳しい経営環境が続くものと想定されますが、コロナ禍で実施してきた緊急抑制措置を解除し、将来にわたり高質な輸送サービスを安定的かつ持続的に提供し公共交通としての使命を果たしていくため、このほど運賃の上限変更認可申請をすることといたしました。

2 申請概要

- (1) 申請日 2023年7月6日(木)
(2) 運賃改定実施日 2023年10月1日(日)(予定)
(3) 実施会社 北陸鉄道㈱、北鉄金沢バス㈱、北鉄白山バス㈱
(4) 上限運賃の平均改定率 北陸鉄道㈱3.96%、北鉄金沢バス㈱4.21%、北鉄白山バス㈱6.52%
(5) 現行・申請運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃※1	実施運賃※2(予定)
地帯制エリア	200円	210円	210円
	230円	240円	240円
	250円	260円	260円
対キロ区間 基準賃率	41円80銭(40円30銭)	43円30銭	—
初乗運賃	170(160)円 ()内は北鉄白山バスの内容	180円	180円

(6) 主要区間の運賃比較

区間	現行運賃	実施運賃(予定)
金沢駅～香林坊	200円	210円
金沢駅～有松	230円	240円
金沢駅～寺地	250円	260円
金沢駅～金沢大学	370円	380円
金沢駅～南部車庫	510円	520円
香林坊～金石	380円	390円
香林坊～県庁前	310円	320円

実施運賃は、現行の普通旅客運賃に一律10円加算する予定です(北鉄白山バスが運行する160円区間は20円加算)。なお、実施運賃については、申請上限運賃の認可後に届出を行います。

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が收受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、実際にお客様から收受する運賃額です。実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。

3 定期券の取扱い

通勤・通学とも定期券の割引率は変更しませんが、定期券運賃は変更後の区間運賃が適用されます。

4 輸送人員および収支状況(北陸鉄道株、北鉄金沢バス株、北鉄白山バス株)

項目		輸送人員	収支状況
令和3年度	(実績年度)	19,277 千人	△852,099 千円
令和5年度 (推定)	現行	22,420 千人	△542,570 千円
	改定	21,534 千人	△470,739 千円

※令和5年度推定における改定後の輸送人員および収支状況は、申請運賃での推定数値

5 これまでの経営改善と今後の取り組み

当社グループではこれまで、グループ会社の合併や営業所の統廃合によるバス事業再編、ご利用実態に即したダイヤ改正などの実施により収支改善を図ってきました。

今後も利便性向上や事業の効率化に向けた取り組みとして、金沢 MaaS への積極的な参画や需要動向に即したバスダイヤ設定などに取り組むことで持続的な公共交通維持に努めていきます。

6 サービス向上への取り組み

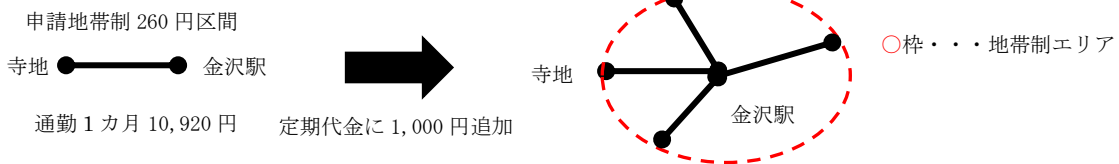
(1) バス車両の更新

安全性及び快適性の向上を図るためバス車両の更新実施

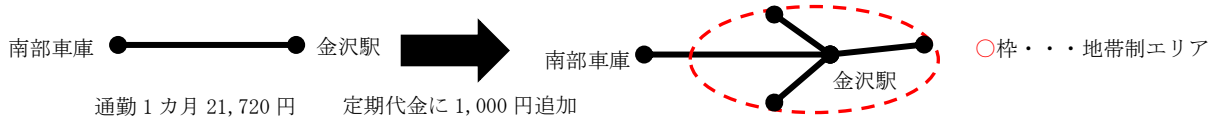
(2) 「まちなかフリー」サービスの 신설 【2023年10月1日(日)から実施予定】

通常の定期券(通学・通勤)に追加設定可能な地帯制エリア乗り降り自由サービスについて、追加費用を現2,140円(1カ月)から1,000円(1カ月)に値下げし、新サービス「まちなかフリー」として販売

例1 寺地⇄金沢駅(申請地帯制260円区間内)の定期券に1カ月1,000円追加で地帯制エリア内(赤枠内)が期限内何度でも乗降可能



例2 南部車庫⇄金沢駅(郊外から申請地帯制260円区間内)の定期券に1カ月1,000円追加で地帯制エリア内(赤枠内)が期限内何度でも乗降可能



(3) ICa 複数回乗車割引の適用時間拡大 【2023年10月1日(日)から実施予定】

複数回乗車割引の適用可能時間を30分以内から1時間以内に拡大

(4) 金沢市内1日フリー乗車券の利用範囲に鉄道線の一部区間を追加【実施済み】

これまでのバス(北鉄グループバス、西日本JRバス、金沢ふらっとバス)に加え、北陸鉄道鉄道線の一部区間(野町駅～新西金沢駅、北鉄金沢駅～上諸江駅)が乗降可能となります。

(5) シルバー定期券の販売価格据え置き

満70歳以上のお客様を対象とするシルバー定期券は、引き続き現行と同額の1カ月7,330円で販売。

7 その他

鉄道線の運賃改定は、乗合バス同様2023年10月1日(日)を実施予定としています。

以上